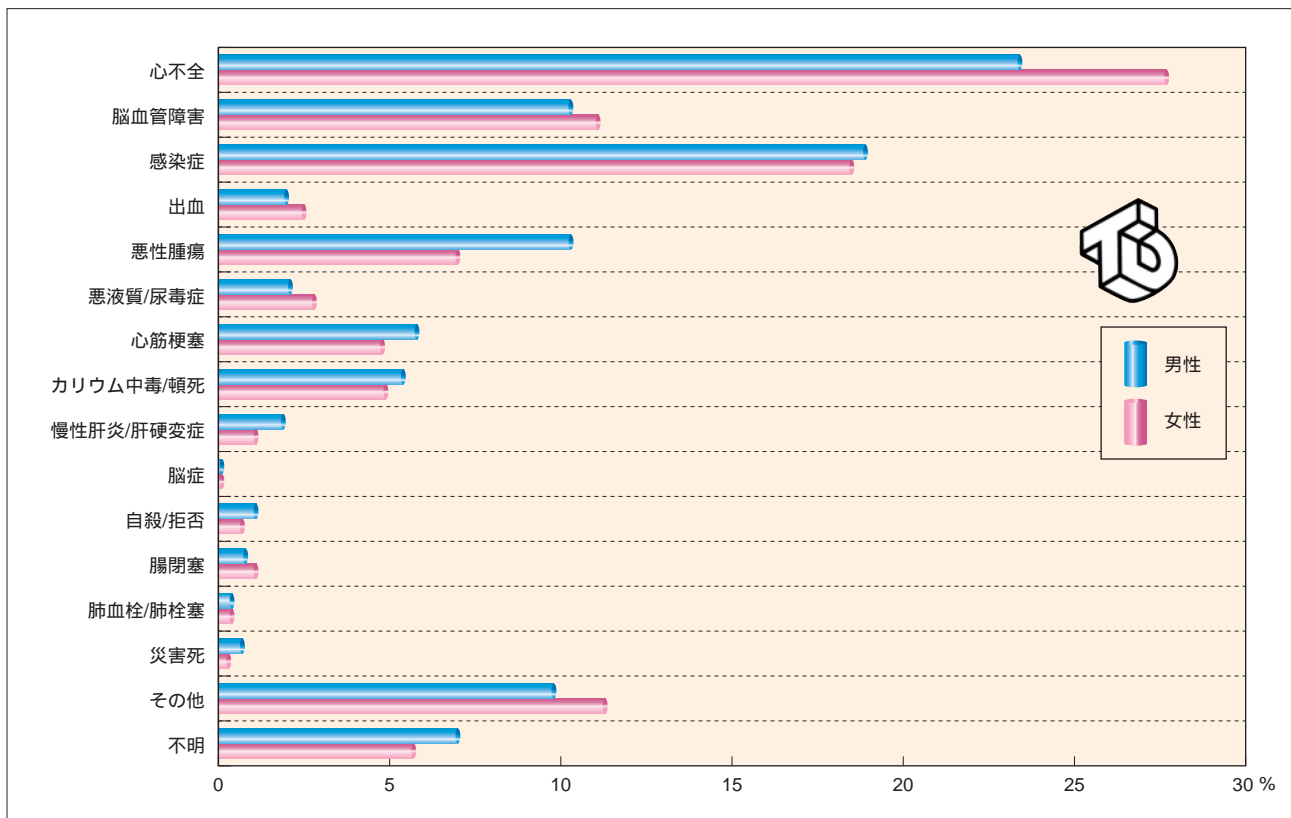


## 5) 死亡原因

(3) 2004年死亡患者の死亡原因分類 (図表18)



死因	男性	女性	合計	記載なし	総計
心不全	2,991	2,185	5,176	2	5,178
(%)	(23.4)	(27.7)	(25.0)	(50.0)	(25.1)
脳血管障害	1,318	871	2,189	2	2,191
(%)	(10.3)	(11.1)	(10.6)	(50.0)	(10.6)
感染症	2,423	1,459	3,882		3,882
(%)	(18.9)	(18.5)	(18.8)		(18.8)
出血	253	198	451		451
(%)	(2.0)	(2.5)	(2.2)		(2.2)
悪性腫瘍	1,311	553	1,864		1,864
(%)	(10.3)	(7.0)	(9.0)		(9.0)
悪液質/尿毒症	266	219	485		485
(%)	(2.1)	(2.8)	(2.3)		(2.3)
心筋梗塞	741	379	1,120		1,120
(%)	(5.8)	(4.8)	(5.4)		(5.4)
カリウム中毒/頓死	689	382	1,071		1,071
(%)	(5.4)	(4.9)	(5.2)		(5.2)
慢性肝炎/肝硬変症	245	83	328		328
(%)	(1.9)	(1.1)	(1.6)		(1.6)

死因	男性	女性	合計	記載なし	総計
脳症	15	7	22		22
(%)	(0.1)	(0.1)	(0.1)		(0.1)
自殺/拒否	139	58	197		197
(%)	(1.1)	(0.7)	(1.0)		(1.0)
腸閉塞	100	90	190		190
(%)	(0.8)	(1.1)	(0.9)		(0.9)
肺血栓/肺栓塞	54	30	84		84
(%)	(0.4)	(0.4)	(0.4)		(0.4)
災害死	95	25	120		120
(%)	(0.7)	(0.3)	(0.6)		(0.6)
その他	1,252	887	2,139		2,139
(%)	(9.8)	(11.3)	(10.4)		(10.3)
不明	898	450	1,348		1,348
(%)	(7.0)	(5.7)	(6.5)		(6.5)
合計	12,790	7,876	20,666	4	20,670
(%)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)
記載なし	158	106	264	2	266
総計	12,948	7,982	20,930	6	20,936

数値下のかっこ内は列方向の合計に対する%です。

### 解説

#### 2004年死亡患者の死亡原因分類

年間の死亡者数は経年的に増加しており、この理由として高齢者の増加と糖尿病性腎症による影響および長期透析患者の増加が関与すると推測されます。

2004年末の死亡原因は従来通り、心不全、感染症、脳血管障害、悪性腫瘍、心筋梗塞の順となっています。性別による差がみられるのは心不全と脳血管障害が女性に多く、心筋梗塞と悪性腫瘍が男性に優位であることが特徴となります。